

令和3年度
事業判定結果報告書

令和3年11月25日

志木市事業判定会

【 事業判定会 】

1 開催日時

令和3年11月13日（土） 午前10時00分～午後3時25分

2 公開方法

市公式YouTube（会場：志木市民会館 204・205会議室）

3 対象事業及び概要

| No. | 担当課 | 事業名称及び事業概要 | 担当課の要求 |
|-----|----------|--|--------|
| 1 | 環境推進課 | <p style="text-align: center;">害虫駆除事業</p> <p>害虫駆除事業では、ムクドリやアライグマの防除等を実施しており、蜂についても市民等からの依頼を受け市民の安全を確保するため、スズメ蜂の巣の駆除を行っている。駆除にあたっては、市職員又は委託事業者が現地で目視により巣を確認したうえで、委託事業者が行っている。</p> | 継続 |
| 2 | 健康増進センター | <p style="text-align: center;">産後健診助成事業</p> <p>産後の健診費用を助成するものである。 （上限5,000円、助成回数1回）</p> | 新規 |
| 3 | 道路課 | <p style="text-align: center;">せせらぎの小径街路灯更新事業</p> <p>ソーラー街路灯の経年劣化に伴い街路灯の更新を行うものである。 既存のソーラー街路灯やソーラーパネルは、平成3年から平成8年までに設置してから25年以上が経過し経年劣化が進行しているため、歩行者等の安全確保とランニングコストを縮減するため、街路灯の更新を5年間で実施するものである。</p> | 新規 |
| 4 | いろは遊学館 | <p style="text-align: center;">公民館等インターネット無線LAN整備事業</p> <p>いろは遊学館及び宗岡公民館のホール・研修室等にインターネット環境を整備することによって、コロナ禍における新しい生活様式に対応した施設として、市民の生涯学習機会の充実を図るものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの活動や事業を可能とし、来館することを控えていた方が自宅にいながら事業に参加・学習できるようになる。 ・高齢者等を対象にスマートフォンやタブレット教室等を開催し、地域住民のITリテラシーの向上やデジタル・デバイドの解消を目指す。 | 新規 |

【判定結果 総括表】

| 事業判定会評価 | 事業数 |
|--------------|-----|
| 担当課の要求どおりで良い | 2 |
| 事業内容を一部見直す | 1 |
| 事業内容を抜本的に見直す | 1 |
| 担当課の要求を認めない | 0 |

【判定結果 個別事業】

事業No. 1 事業名： 害虫駆除事業
 担当課： 環境推進課

1. 判定結果

事業内容を一部見直す

2. 事業判定会コメント

スズメバチに刺されると命を落とす危険性があり、一般家庭での巣の駆除は困難であることから、市民が安心して日常生活を送るためにも、是非継続していただきたい事業ですが、事務の流れについては、一部見直しが必要であると考えます。

具体的には、市民から報告を受け、場合によっては、市職員が現場を確認し、スズメバチの巣であることを確認してから業者に駆除を依頼しているという現在の事務の流れでは、市職員の負担が大きく、また、依頼から駆除までに時間を要することから、直接現場に行かなくてよい仕組みを検討する必要があると考えます。例えば、市公式LINEなどを活用して写真を送ってもらう方法や、市民が直接業者に依頼する方法を導入することなどにより、市職員が直接現場に行く手間を減らす方法を検討していただきたい。

また、スズメバチの駆除対応を行っている業者は市内に1社しかなく、他市と比較すると安価ということであるが、少しでも費用を下げるため、市外も含めた他の事業者との比較・検討を行っていただきたい。

さらに、市がスズメバチの駆除を行っていることを知らない市民も多くいるので、積極的な周知についても検討し、引き続き市民の命を守っていただきたい。

3. 自由意見

- ・件数が増えていくなかで、市職員の対応が大変だと感じました。
- ・業者が市内に1社しかなく他市よりも安価ということだが、金額を少しでも安くしてもらうことも考えてほしいです。
- ・件数が多くなってきたときには、クーポン券等の取扱いも検討してもよいと思います。
- ・市で駆除を行ってくれることを知らない方も多いと思います。
- ・市民の命が大切という話が出たので、より多くの方へ周知をお願いしたいです。
- ・市民の安全を守る一環としては素晴らしいことだと思います。
- ・スズメバチが巣を作る環境（場所）などを市民へ広報し、日常的にチェックしてもらうことで極力減少させるようにしてほしいです。
- ・少人数で工夫して対応していると思うのですが、もっとやり方等を見直すこともできるのではないかと感じました。
- ・スズメバチの駆除は必要ですし、安全な生活を送るうえで有効な事業だと考えます。
- ・市民の公益性を考えると、巣が民地・官地に関わらず、通学路や公園など市民の生活の場を安全なものにするために、事業は継続してほしいです。
- ・巣の確認作業として、依頼主より、写真を送っていただくというのは有効な手段だと思います。
- ・写真と場所と一緒に、市公式LINEやメールで問合せってもらうことで、わざわざ職員が出向く手間や時間を省くことができ、市職員の安全確保にもつながると思います。
- ・蜂の発生の防除は一般家庭では困難であり、被害の範囲も広いと思います。
- ・市民生活の安全確保の観点から必要な事業であると思います。

事業No.2

事業名：産後健診助成事業

担当課：健康増進センター

1. 判定結果

担当課の要求どおりで良い

2. 事業判定会コメント

コロナ禍の影響による出生率の低下など、少子化が課題となる中、妊娠、出産がしやすい環境を整備するとともに、産後についても健診費用を助成し、経済的負担の軽減を図ることは重要と考えます。

加えて、本事業では、育児環境や母親自身の気持ち、赤ちゃんに対する愛着などを含めた健診結果を医療機関が市に情報提供することで、特に産後うつや早期発見やそのフォローを円滑に行うことが可能となり、経済面だけではなく、母子が心身共に安定した生活を送るための環境整備にもつながることが期待できます。

また、支援が必要な方を取りこぼさないためにも、医療機関と十分に連携を図ることはもちろん、里帰り出産などで県外で受診した方へのフォローもしっかりと取り組んでください。

3. 自由意見

- ・産前産後のケアをより充実していくために細かい支援が必要です。特に産後においては、健診費用を助成することで、産後うつやチェックをしてもらえるのは良いと思います。児童虐待の防止の観点からもより充実した事業にしてほしいです。
- ・他の自治体でも助成が始まるので、志木市独自のチェック方法を取り入れることで、志木市の住民として子どもを産みたいと思っただけのような事業となることを期待します。
- ・産婦の方の心身、乳児の虐待などサポートに取り組んでいることは十分に伝わったので、これからも様々なサポートや支援に力を入れてほしいです。
- ・受診率が100%に近い産後健診の費用を補助するのであれば、不妊治療等他の事業に税金を使ってほしい。
- ・健診の項目が統一され、個々の診断に生かされることで、健診のレベルが上がると思います。
- ・産婦の方が自分の心身の状況を自覚することで、それ以降の健診やサポートに生かされると思います。
- ・産後健診の助成をすることで医療機関の負担はどうなるのでしょうか。理解して協力してもらえるのでしょうか。
- ・健診結果を点から線で比較して判断ができるのは評価できる取組だと思います。支援が必要な方を取りこぼさないためにも、益々努力してください。
- ・「子育て世代定住」、「切れ目のない支援」という観点から見ると、一ヶ月後産後健診のみ、退院時に全員予約して受ける必要がある健診にも関わらず5,000円の自己負担となり、支援が抜け落ちているので、サポートしてもらえるととてもありがたいです。
- ・2ヶ月前後の訪問時の比較もとても重要なので、データ共有は大切だと思います。
- ・里帰り出産の産婦の方で県外で受診した方に対しても、1ヶ月後の状況の聞き取りなど、ケアをしっかりしてほしいです。

1. 判定結果

事業内容を抜本的に見直す

2. 事業判定会コメント

せせらぎの小径は水と緑に親しむ地域コミュニティ空間として多くの市民が利用しており、今後も安全に通行できる場所であることが求められるため、街路灯の更新については必要であると考えます。

しかし、現状のソーラー街路灯については、蓄電した電力を災害時に活用できる機能がありながら活用方法が策定されていないことに加え、その機能が市民に周知されていないことから有効活用されておらず、更新する際、蓄電設備を再度整備するのであればルールの策定が必須です。

また、ソーラー式以外の方式との比較検討やランニングコスト等の検証、さらにはネーミングライツやクラウドファンディングの活用といった財源の確保についても十分な検討が行われておらず、これらについても様々な方法をしっかりと検討する必要があると考えます。

さらに、せせらぎの小径を夜間実際に歩いたところ、十分な明るさが確保できていない印象があり、整備内容の決定にあたっては、照度の確保についてもしっかりと検証してください。

いずれにしても、多くの市民が今後も利用していく場所であることから、明るく安全な環境を整備するとともに、しっかりとした管理ができる街路灯の更新に向け、全面的に実施方法を再検討してください。

3. 自由意見

- ・交換コストが多くかかるため、災害時の使用が不明確ならソーラー式にこだわる必要はないと思います。
- ・災害時のコンセントの活用について、1度に何人の人が使えるのか町内会ともよく決めていただき、ルールをしっかりと決めたいので、訓練等も必要だと思います。その対応が難しければソーラー式にこだわる必要はないと思います。
- ・国道254号バイパスの開通時は立体横断歩道橋ができると聞き安心しました。市民生活の負担にならない対応を今後とも願います。また、その後のまちづくりのこともよく考えてほしいです。
- ・緊急時の電源使用の優先順位など明確にした方がよいと思います。
- ・質疑応答があまり準備されていなかったのが残念ですが、応援しています。
- ・幼少の頃からあった用水路がきれいな小径にかわり、自分の子どもを連れてお世話になった場所なので、是非明るくきれいに生まれ変わってほしいです。
- ・電柱による引込み（商用電力か地上引込み）にするべきだと思います。
- ・このままソーラーにしても暗いので電柱にLED設置で明るさ（安全）を確保してほしいです。
- ・街路灯の玉切れが目立つため日常の維持管理をしっかりとしてほしいです。
- ・散歩道としては非常によい場所だと思います。
- ・街路灯は必要だが、ソーラー式にこだわる必要があるのか疑問が残ります。
- ・コストを考えるとメリットが少ないと思います。
- ・電柱の利用、民間地の利用等、全てを変えるのではなく、一部利用できる場所は利用すべきだと思います。
- ・せせらぎの小径は景観・環境としても良いものであり、今後も維持して欲しい場所だと思います。
- ・街路灯の老朽化による修繕は必要ですが、もう少し柔軟に色々なやり方を考えてみてほしいと思います。
- ・劣化している物の更新は、市民の安全のためにも必要だと思いますが、有効活用が必要です。
- ・ソーラーパネル、太陽光蓄電用バッテリーは良いと思いますが、更新して終わりでは意味がないと思います。その先の運用方針の策定はしっかりと地域住民との災害対策事業として進めてほしいです。
- ・金額的にも高額だが、せつかく災害時にも使える電力が有効活用されていないのが非常に残念です。ただ更新して終わりではなくその先の活用方法までしっかり見据えて地域住民と有効活用してほしいです。また、市税をしっかりと還元してほしいです。
- ・まちづくりの観点から、ネーミングやクラウドファンディングなどの制度を利用することで、地域全体を盛り上げて欲しいです。
- ・単なる改修とするのではなく、非常時の電源活用の方法や、自然エネルギーを使った照明などを周知し、市民への環境に対する関心を高める工夫をするなど「せせらぎの小径」について市をあげて考えてもらいたいです。
- ・現状の照明は暗いためLEDなどで明るさを確保したほうが安全な場所だと思います。

事業No.4

事業名： 公民館等インターネット無線LAN整備事業

担当課： いろは遊学館

1. 判定結果

担当課の要求どおりで良い

2. 事業判定会コメント

コロナ禍により対面での講座の開催が制限される中、zoom等を活用したオンライン講座の開催など、時代に合わせた事業展開が求められているとともに、公民館等の利用者からの要望もあることから、インターネット無線LAN環境の整備は必要であると考えます。

また、高齢や障がい等を理由に公民館等へ行くことが困難な方への参加機会の提供や、若い世代の公民館等の利用促進など、整備をきっかけに新しい公民館活動が展開されることを期待します。

なお、子どもたちのインターネット利用に伴うトラブル回避など、適正に利用してもらうためのルール作りをしっかりと行うとともに、高齢者をはじめとしたICTの利用に不慣れな方を支援するため、ICTリテラシー向上に寄与する講座などの実施を検討してください。

加えて、インターネット無線LAN環境の整備後は、積極的な周知活動を行い、利用者の増加に努めてください。

3. 自由意見

- ・新しい公民館の形ができるのではないかと期待します。
- ・パスワードの管理も貸し出しの都度変更できるということなので、しっかりと管理をお願いしたいです。
- ・幅広い利用者の声をしっかりとまとめられているところに感心しました。
- ・公民館に行きたくてもいけない方（高齢者、妊婦さん、障がいを持った方等）に、今後もオンラインを活用した支援等期待しています。
- ・基本的には賛成ですが、ルーターの貸し出しを無料にすると、マナーやルールが崩れるおそれがあるので、有料にするのはどうでしょうか。
- ・今回成功したならば、宗岡第二公民館もゆくゆくは整備してはどうでしょうか。
- ・新しい層との交流や新しい公民館活動に期待します。
- ・子どもたちにネットの乱用がされないようにガードしてください。
- ・高齢者も含めた活用方法を検討してほしいです。
- ・周知活動を進めてほしいです。
- ・時代に合った施策だと思えます。
- ・若い世代の利用拡大ができるよう事業内容を検討してほしいです。
- ・ネット上のトラブル等が発生しないよう、利用規約はしっかりと作り込む必要があると思えます。
- ・コロナがきっかけにはなったけれど、インターネット環境を整備することで、説明会・町内会・サークル総会等がオンラインで可能になる、コロナ禍でも講座等を中止にするのではなくオンラインで継続できる、利用者の需要に応えるなど、今後の市民活動が広がるという観点から、進めてほしいと思えます。
- ・費用対効果を考えると、しっかり有効活用してもらうためにも、公民館による普及活動としてスマホ・タブレット講座を開催するなど、市民の多くの方に利用してもらえるよう、広報・周知活動を工夫して行ってほしいです。
- ・インターネットを整備することは、利用者の利便性向上のためにも必要だと思えます。
- ・Wi-Fiの利用に関しては、セキュリティに考慮しながらも、より多くの人たちが簡単に使用できるようにすべきだと思えます。

